


「霊長類学・ワイルドライフサイエンス・リーディング大学院」による派遣研究者報告書

(当経費の支援を受けての出張後、必ずご提出ください)

| | |
|-------------|-------------------|
| 令和1年 8月 19日 | |
| 所属部局・職 | 野生動物研究センター・修士課程学生 |
| 氏名 | 斉恵元 |

| |
|---|
| 1. 派遣国・場所 (〇〇国、〇〇地域) |
| 日本・東京 |
| 2. 研究課題名 (〇〇の調査、および〇〇での実験) |
| キッズジャンボリー |
| 3. 派遣期間 (本邦出発から帰国まで) |
| 令和1年8月12日 ~ 令和1年8月15日 (4日間) |
| 4. 主な受入機関及び受入研究者 (〇〇大学〇〇研究所、〇〇博士/〇〇動物園、キュレーター、〇〇氏) |
| 東京国際フォーラム |
| 5. 所期の目的の遂行状況及び成果 (研究内容、調査等実施の状況とその成果：長さ自由) |
| 写真(必ず1枚以上挿入すること。広報資料のため公開可のもの)の説明は、個々の写真の直下に入れること。 別途、英語の報告書を作成すること。これは簡約版で短くてけっこうです。 |
| キッズジャンボリーで「中国の動物たち」ブースを担当しました。日本の子供たちと中国の動物やそれと関連する文化を一緒に楽しみました。準備の1日を外して、3日間300人以上の子供とも出会えました。 実際、活動中、十二支の影絵劇を上演したり、象形文字の文化背景を説明して、子供に実際書いてもらいました。絵を書くのが好きで動物が好きな子供たちと出会えて、まるで小さい頃の自分と出会えたようでした。動物の保全の研究をしたい初心を再び思い出しました。 |
|  |
| ※メンター (PWS プログラム指導教員) が確認済の報告書を【 report@wildlife-science.org 】宛にご提出ください。 |
| 6. その他 (特記事項など) |
| |